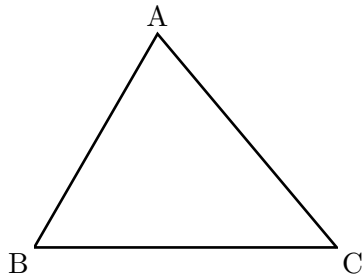


1組の辺とその両端の角が分かるとき。



```

¥begin{pszahyou*}[ul=8mm](0,5)(-2,6)
¥tenretu{B(0,0)sw;C(5,0)se}
¥kandk¥B{60}¥C{-50}¥A...①
¥Put¥A[n]{A}
¥Takakkei{¥A¥B¥C}
¥end{pszahyou*}

```

¥kandk を使った三角形の描写。先ほどの三角形では辺の長さをコンパスで書くようにして求めましたが、今回は分度器を使って書きましょう。まず端点の B, C の設定は同じです。①の ¥kandk¥B{60}¥C{-50}¥A は B の端点から 60° の方向角を持つ直線と C の端点から -50° の方向角を持つ直線の交点を A としますという意味です。下図参照。この図からわかるように、次のように記述しても同じ結果が得られます。¥kandk¥B{60}¥C{130}¥A

